

地域公民館としての事績と新たな指針

～伝統継承と明日への一歩～

宮若市 上大隈公民館【自治公民館】 館長 本松 秀則
老人会長 金川 學

1. 事業名

「地域公民館活動」

2. 事業の目的

地域公民館活動を通して住民同士が価値観を共有し意識向上に努める

3. 事業の実施主体

上大隈公民館

4. 連携・協力機関・団体等

宮若市中央公民館 宮若市防災安全係 上大隈自治会 老人クラブ光明学院大学

5. 実施に至る経緯

ここ上大隈において、400年前、慶長九年に疫病が発生し、大隈の住民が苦しんでいる時、旧心上人が百万遍念仏修行を行って疫病を退散させた。上人の没後、その行為に対して「大隈(当時)の住民が三軒になるまでお祀りします。(古文書)」と誓いを立て、観音堂を中心に上人に対する報恩感謝の心(命の大切さ・他人への思いやり)を持ち、爾来上大隈では7月17日の夜に、観音様のお祀り(祭り)を行ってきた。今日では「十七夜祭奉納演芸」として、上大隈公民館において隣組単位やクラブ(教室)等の唄(歌)や踊り・寸劇などの演芸を行っている。

こうした活動により、上大隈住民の結束力や絆を築くことができ、地域公民館活動にも理解と協力を得て積極的に参加していただいている。今回、公民館発足以来現在に至るまで行われてきた活動をまとめて事業報告としてまとめた。

6. 事業の内容

上大隈公民館また上大隈老人クラブ光明学院大学の長期活動。

上大隈公民館、上大隈老人クラブ光明学院大学組織、年間行事の紹介。

平成19年～21年には上大隈公民館子ども会育成部・老人クラブ・地域住民とで年間を通して『稲の一生』という稲作活動を実施した。内容としては種まき、田植えと苗の本数を変えて収穫量の比較実験、稲刈り、収穫したもち米を使っての餅つき大会や藁を使っての締め飾り作りなどを通して地域住民が絆を深めた。

その他の行事として

- ・ 7月17日 『十七夜祭奉納演芸』
- ・ 7月21日～8月28日 『夏休みラジオ体操』
- ・ 8月13日 『供養盆踊り』
- ・ 9月25日 『敬老祭』
- ・ 11月28日～29日 『公民館親睦旅行』
- ・ 12月18日 『餅つき大会』
- ・ 1月15日 『どんど焼き』
- ・ 2月18日～19日 『第13回文化展』 など

※公民館活動



【十七夜祭奉納演芸】



【供養盆踊り】



【敬老祭】



【稲の一生】



【餅つき大会】



【どんど焼き】



【手作り文化展】

7. 事業の成果

伝統の継承と明日への一歩というテーマを掲げ、公民館活動を通して、地域住民のあいだに強い絆を築くことができつつある。今後想像もしない自然災害が起こるかも知れないので、災害に備える体制作り、また今後の高齢化が進む社会情勢を見た時、要介護者や高齢者が安全・安心して暮らせる地域を老人クラブを中心に地域住民に働きかけ、助け合う体制もできつつあるとの感触を得ている。

8. 今後の課題

公民館活動を若い世代に、いかにして継承していくかが問われる。

また公民館役員が知恵を絞って地域住民を巻き込み活動ができるようにする事が大切である。

問合せ先

- ① 〒823-0005 福岡県宮若市上大隈 664
上大隈公民館 TEL : 0949-33-2163
- ② 宮若市中央公民館 TEL : 0949-32-0123